中世木モニタリング　　８月

区　分　モニタリング
日　時　８月 18 日（金）
場　所　南丹市日吉町中世木地区、笛吹神社、大塩谷作業道
天　候　晴れ
主宰者　前田敦子
参加者　７名（うち地域の参加者１名）

カエデドコロ

モニタリング

A 区間の畑　紫色の花が目立ち畑と道を分けるフェンスには、つる性植物が巻付きアケビが多くの実を付けていました。他にもアオツヅラフジ、ボタンヅル、タチドコロ、ヘクソカズラ、カエデドコロなどが混在していて私には判別が難しい場所の一つになっています。

B 区間の畑に向かう里道では、ハンショウヅルの実がたくさん見られ、ヤマコウバシの木では実をつぶして強い臭いを嗅いでみましたが名前の「香ばしい」感じはなく、少しきつい臭いでした。近くにあったクロモジと比較しましたが、同じクスノキ科ならやはりクロモジの方が良い香りに感じました。他に、マユタテアカネ、ハグロトンボが見られました。

C 区間の山道に入るとアケボノソウの近くに虫に食われたススキの葉があり、葉裏に付いた黒い粒を 3 個発見し、よく観察すると黒い部分は頭部で体がススキの葉と同じ色をした幼虫 3 匹でした。これはススキにつくクロコノマチョウの幼虫と分かりました。他にもスケバハゴロモを見つけました。また、この時期は綺麗なイワタバコの群生を見る為に、山道から沢に入り小さな滝の所まで入りました。

京都の自然２００選　笛吹神社のスギ

当日の午後

最近、京都 200 選の追跡調査の話があり現状を京都府担当者に送るのですが、今回は近くの笛吹神社の大きな「スギの木」の写真を写しに立ち寄りました。

午後の目的地、大塩谷作業道（林道）へは車で少し移動し、谷筋に沿って標高 250m 付近までの林道を往復しました。ここでは、クリンソウが道脇に繋がって生えていて、アブラチャンの木が多い印象でした。また、少し離れていて葉っぱからは確定できなかった木は、近づいてみてミツマタだと判明しみんな納得して午後の観察会を終了しました。

今回のモニタリング調査では、地元の方が 1 名参加してくださり調査の様子や興味のある草木について話ができて良かったです。今後も地元参加者が増えてほしいものです。

（文責　古結）

クサキリ

クロコノマチョウ幼虫

スケバハゴロモ

マユタテアカネ

翅端斑型

コミスジ

ヒメキマダラセセリ

マタタビの虫こぶ（木天蓼もくてんりょう）

イワタバコ

アブラチャンの実